



4月から電力自由化がスタートします。 管理組合のベストな選択方法は！？

マンション専門
電気コンサル
19年

マンションECOサポートセンターの 答えは！？

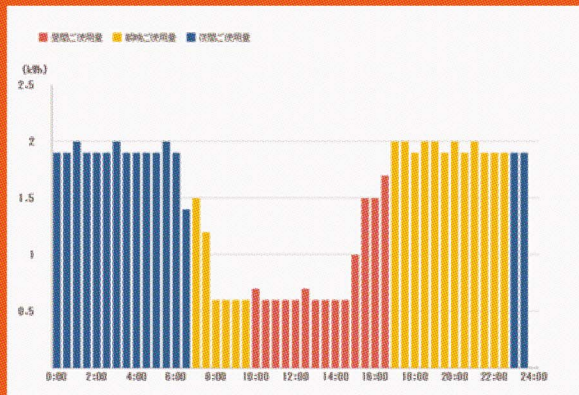


やっぱり 共用部分は東京電力

サービス面

スマートメータの設置で、くらし TEPCO (旧でんき家計簿) で30分単位の使用電力が見えます。これにより管理サービスが向上します。(会社のパソコンから照明の点灯検査時間や停電時間、集会室利用時間や使用量増減時の基礎データ収集などいろいろなことができるようになります)

ちなみに、右グラフは竣工2007年・神奈川県・28戸のマンションの1日の30分単位の電気使用データです。電気代を下げるなら昼間(特に単価の高い赤い棒グラフの10時～17時)の節電が効率的なことがわかります。停電が起これば、その時間帯の電力が0kwhになります。



非常時の対応

- 停電時の原因究明(原因の早期確認。地域停電?建物内の電力会社の受電設備?建物の設備?)
- 漏電時の応急手当(急な漏電停電の漏電回路を特定した応急工事対応)
- 災害時の電気復旧(東日本大震災を踏まえた大規模広域災害に対する即応力の強化は国や電力会社で進んでいます。東電の直契約の方が対応が早いと考えます)

選べる割安メニュー

東京ガスなど新電力会社は、東京電力の従量電灯契約(主に家庭で割引なしの契約)に対し、3%～5%程度削減できるメニューを出してきました。しかし、東京電力の従来の割引メニュー(電化上手や低圧高負荷契約等のように20%～35%程度)や新たな割引メニュー(スマートライフプランのように10%～20%程度)に対抗できるメニューは新電力会社にはありません。

マンション専門の 電気コンサル19年で感じた 「さすが東電」

電気料金返金コンサル

電気料金の計算式は意外と難しく、その計算によっては電気料金に差が生じる場合があります。当社では竣工時にさかのぼり電気料金の計算チェックを御契約先のお客様には無料で行っています。昨年の1組合での最大返金額は6,834,869円です。これは誠実な東電だからできる対応だと思います。

積算メータ交換時に100V 回路に200Vを流し壊れた 照明器具の交換の早さ

トラブル当日は仮設照明を設置し、翌日には壊れた照明器具を全交換と対応の早さにはびっくりしました。お客様への説明も滞りなく済んだのは東電だからでしょう。

ただし...

お得な電気メニューを見つけるためには約款の分析が必要なため
皆様が考えている以上に難しくなりました。

今後はさらに、マンション専門コンサル会社である マンションECOサポートセンターの腕の見せ所です。

1

東電でも意外と大きな増額となった新メニュー。預金口座振替割引50円(税別)引きがなくなり、電気料金領収証発行費100円(税別)がかかることです。したがって、ポイント還元ができない管理組合はむやみに契約種別を変えると、1本の電気契約につき会計管理上1ヵ月150円(税別)値上げになる場合もあります。

2

東電でも新メニュー変更後は、最低1年間は(会社によっては継続的に?)、電子ブレーカーを含めた減設工事やメニュー変更ができなくなります。

3

東電の新メニューの動力プランは基本料金の単価が5%安くなりましたが、力率割引(契約力率90%時の5%割引)がなくなりました。したがって基本料金は同じです。

10年後も、その先も...「この会社を選んでよかった」と思って頂ける会社をめざして



日本初のマンション専門総合省エネコンサルティング会社

マンションECOサポートセンター 株式会社

東京都千代田区岩本町 3-4-3 塩生協ビル 2 階 TEL.03-5823-8411/FAX.03-5823-8488

マンション電気

検索

<http://www.mecos.co.jp/>